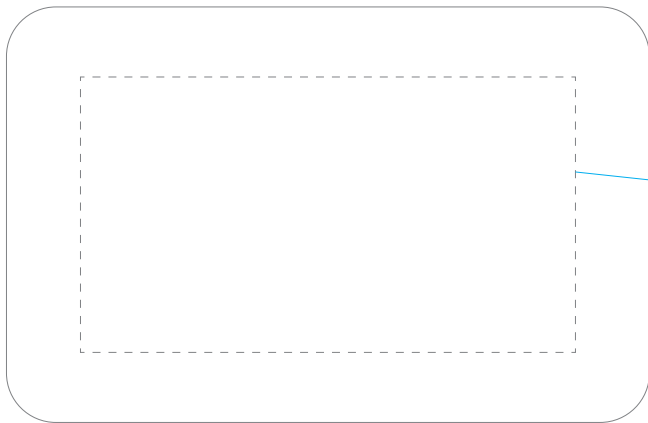


- ・文字はアウトライン化してください。
- ・画像の解像度は 600ppi 以上にしてください。
- ・印刷の色の数に合わせて DIC、スミ、白などで色のご指定をお願いいたします。
- ・画像を配置する場合はリンク配置にしてください。
- ・データのサイズが 5MG を超える場合はファイヤーストレージなどのデータアップロードサイトにデータをアップロードしていただき、URL を貼り付けてご送信をお願いいたします（データが重たいとメールが届かない場合がございます）。
- ・型データの印刷範囲の点線から、デザインデータがはみださないようにしてください。

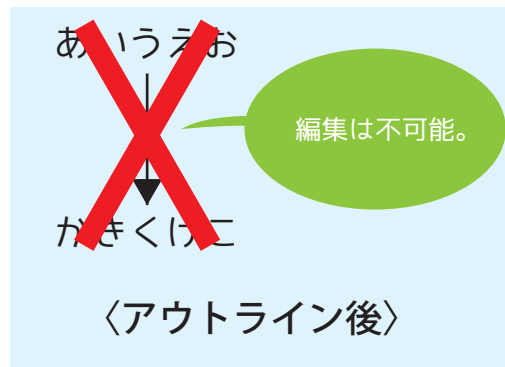
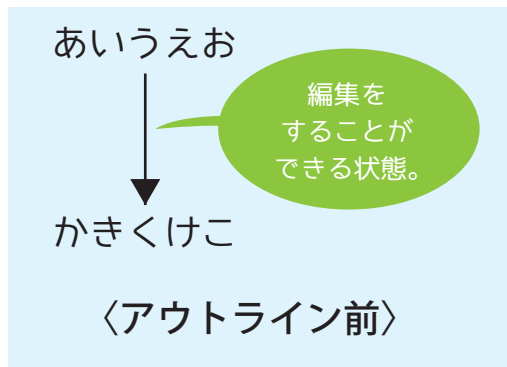


この点線の中にデザインデータを収めてください。

- ・クッキー缶のデータには透明効果は使えません。
- ・データの形式は .ai 形式にしてください。
- ・.ai データはバージョン CS5 にて保存をお願いいたします。

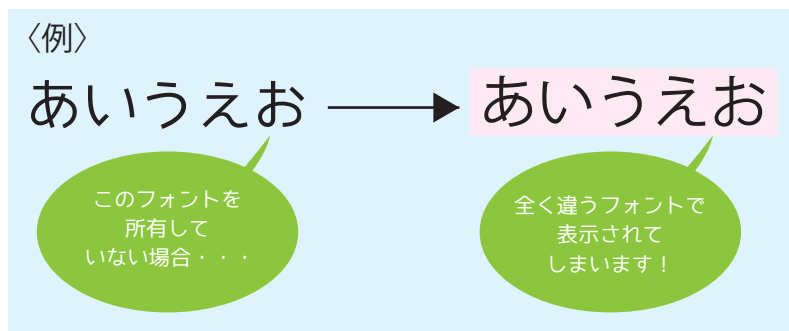
“文字をアウトライン化する”とは

文字を打ち替えるなどの編集をすることができるフォントが活着ている状態から、文字を打ち替えるなどの編集ができないパス（線画）の状態にすること。



なぜ必要か

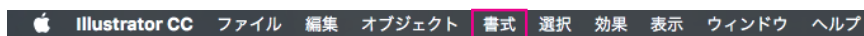
送り先のパソコンが同じフォントを所有していない場合、送り先のパソコンでデータを開くと本来のデータと違うフォントで表示されてしまうため。



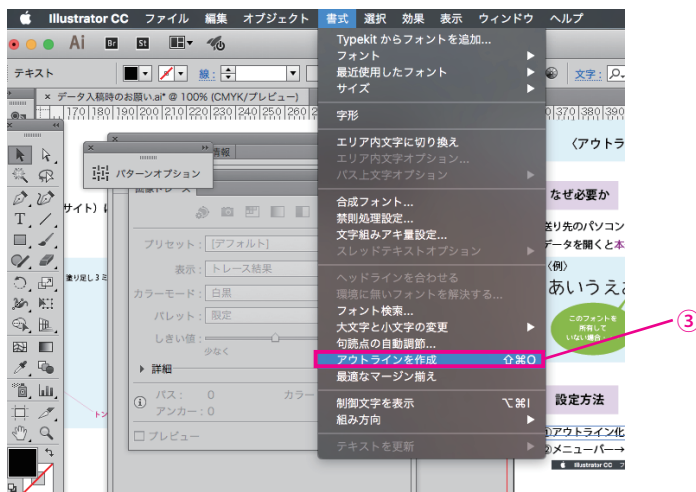
データ間違い防止、
少ない手数で作業をするためにも
文字のアウトライン化を
お願いいたします。

設定方法

- ①アウトライン化したいフォントを選択する。
- ②メニューバー→書式（左上にあります）



- ③『アウトラインを作成』 選択



“画像解像度を 600ppi 以上にする” とは

『画像解像度』…写真などのイメージの「密度」を数値化したもの。

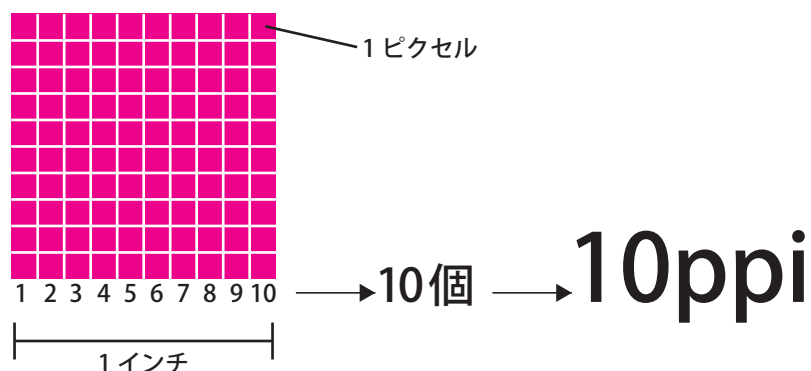
解像度の数値が高ければ高いほど、よりきめ細かい綺麗なイメージ（高解像度）ということになる。

『ppi』…画像解像度をあらわす単位。画面上で解像度を設定するときにつかう。

pixels per inch の略

画像は画面上でみたときピクセル（ちいさい四角）の集合でできているが、**ピクセルが 1 インチ（25.4 ミリ）の 1 列に何個入っているか**という基準で割り出した数字のこと。

〈例〉

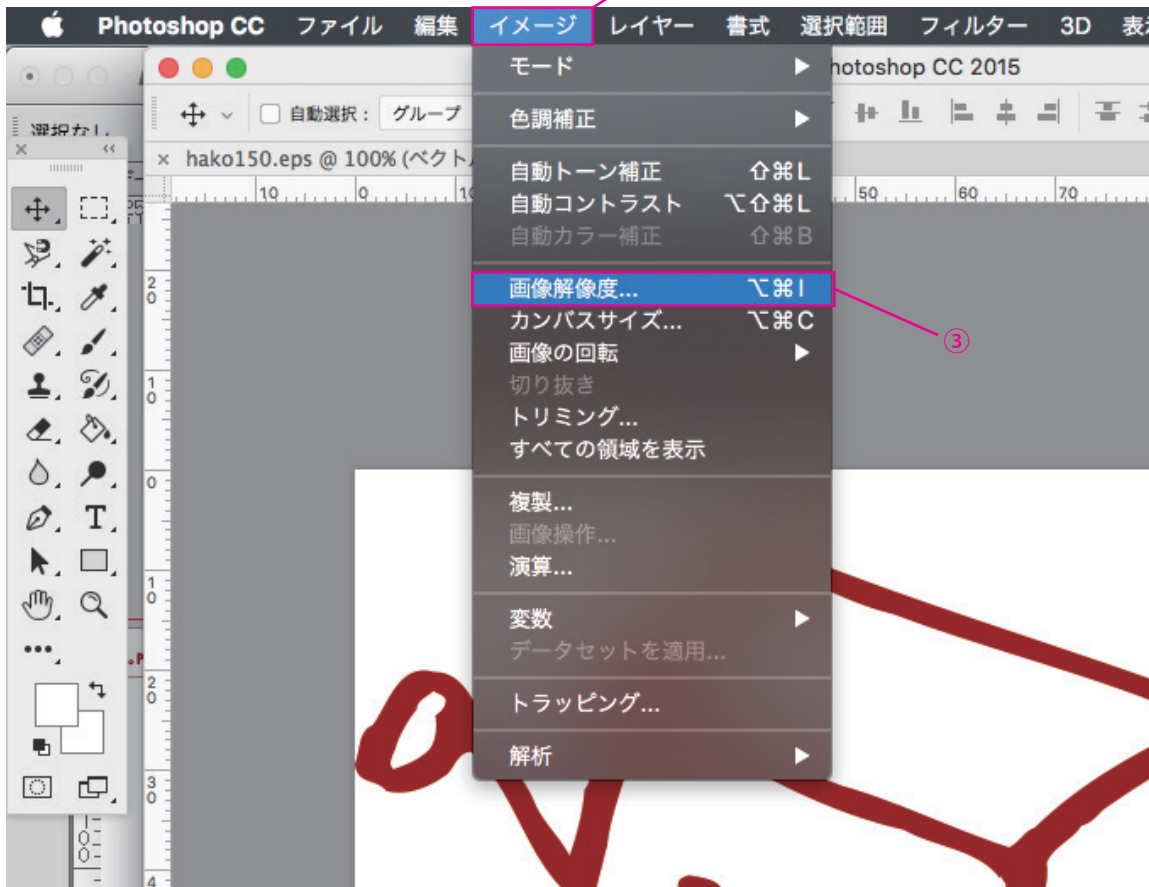


※通常の印刷物では解像度 350ppi での印刷が一般的ですが、

クッキー缶に関しましてはデータ加工の都合上 600ppi でのご入稿をお願いしております。

設定方法

- ①配置する画像を Photoshop（デザインをするためのアプリ）で開く。
- ②メニューバー→イメージ（左上にあります）
- ③画像解像度



- ④解像度を 600 にする。

“.ai データ” とは

*企画デザイン部が使っている Mac に入っている、『Illustrator（イラストレーター / 通称：イラレ）』というデザインをするためのアプリでのみ開くことが可能なデータのこと。

*他の .jpg などの画像データだと、見た目は同じでもデータのパーツが全部つながった状態になってしまっているのでも1パーツのみ動かすような編集ができない。

.ai データではそれが可能。

“カラーモードを CMYK にする” とは

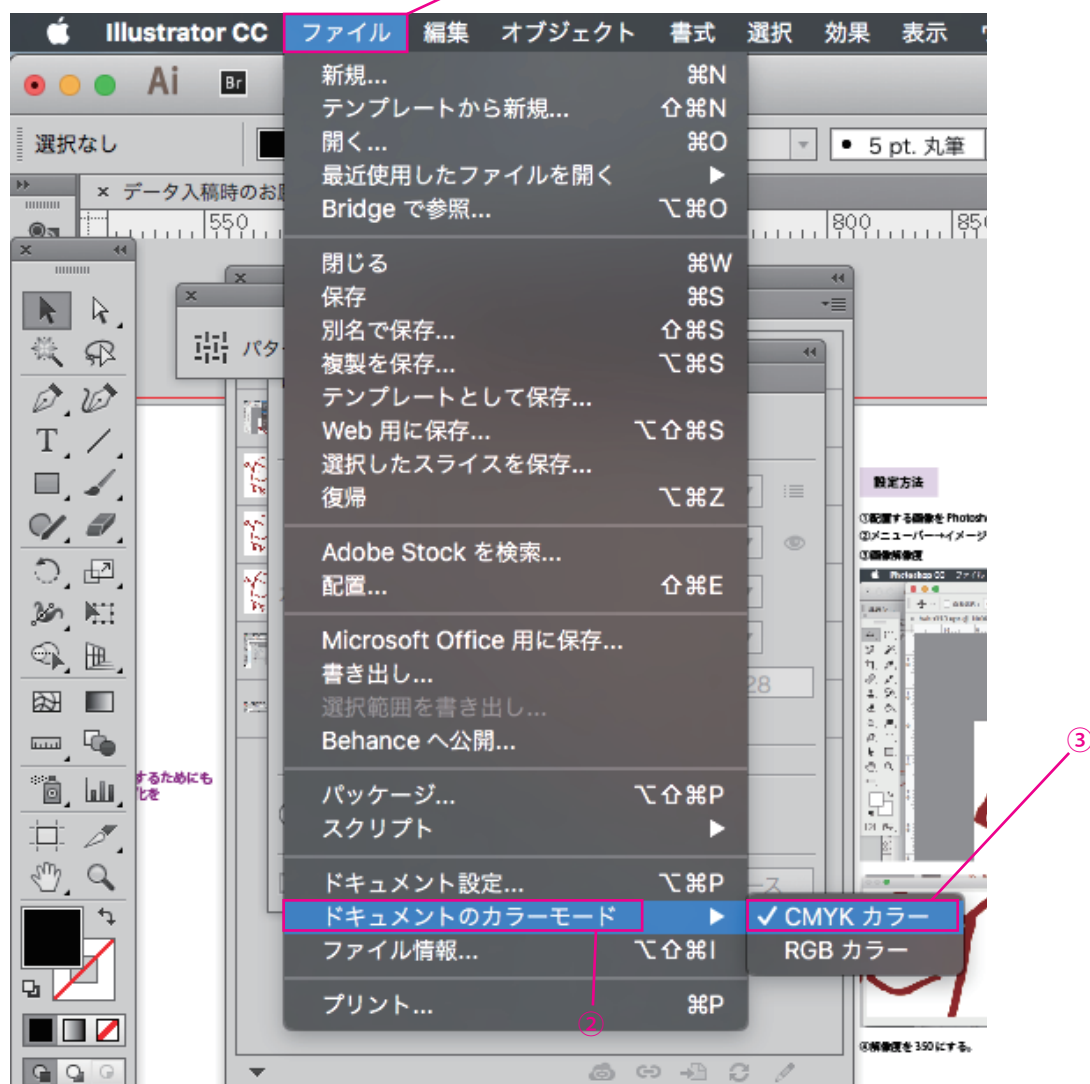
印刷でデータを表現するとき、CMYK（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック）の4色が必要なのでデータを印刷に対応したカラーモードにすること。

設定方法

①メニューバー→ファイル（左上にあります）

②ドキュメントのカラーモード

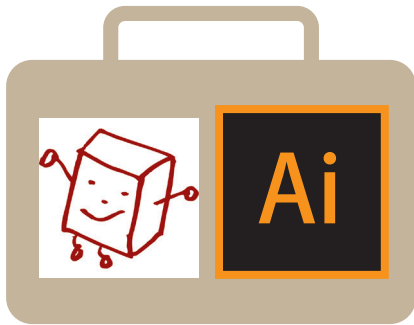
③CMYK カラー



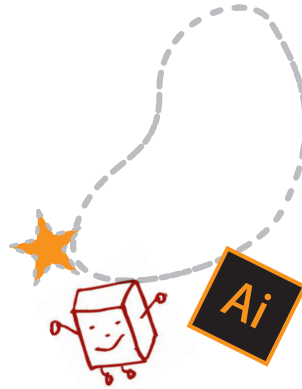
“画像をリンク配置する” とは

.ai データに画像を配置する際、『埋め込み配置』と『リンク配置』の2つの方法がある。
『リンク配置』とは Photoshop などの別のアプリケーションで作成したファイルを参照し、Illustrator 内に画像の情報を持たせずに『プレビュー』で表示させる配置方法のこと。

〈簡単に例えていうと…〉



リンク配置は、同じカバンの中に必要な画像と .ai データを入れていて、いつでも取り出せるイメージ。



埋め込み配置は、絶対に外れない鎖で繋がれたキーホルダーのイメージ。自由に取り出したりできない。

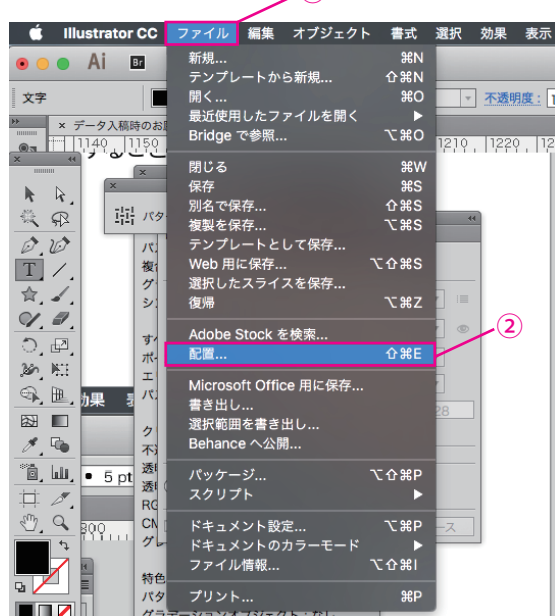
なぜリンク配置が必要か

- .ai データを軽くするため。
- 配置してある画像をデータの受取手も編集・保存することができるから。

設定方法

①メニューバー→ファイル（左上にあります）

②配置



③配置したい画像を選択

④リンク チェック

⑤配置

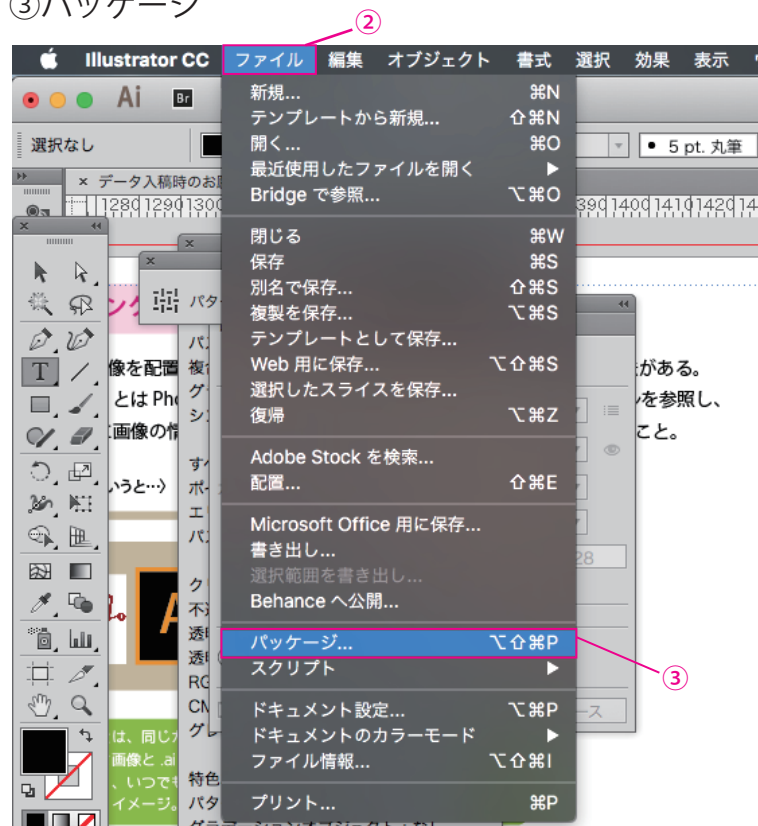


〈データを作成しおわったら〉

①保存

②メニューバー→ファイル（左上にあります）

③パッケージ



④リンクをコピー チェック

⑤パッケージ

→パッケージすると、配置した画像と .ai データがひとつのフォルダにすべて集結し、
画像の画像のリンクもつながった状態になりますので、そのフォルダごとお送りください。

